

平成30年度 事業報告

平成30年4月～31年3月

会議の開催

広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う委員会として4回開催した。

- ・ 第1回 広域観光連携専門委員会（平成30年4月26日開催）
- ・ 第2回 広域観光連携専門委員会（平成30年8月1日開催）
- ・ 第3回 広域観光連携専門委員会（平成30年10月12日開催）
- ・ 第4回 広域観光連携専門委員会（平成31年2月13日開催）

幹事会

連携会議の円滑な運営を補助することを目的に1回開催した。

- ・ 第1回 幹事会（平成31年3月26日開催）

平成30年度 of 取組

(1) 訪日プロモーション地方連携事業（旧ビジットジャパン地方連携事業）

- ・ 外国人旅行者の訪日促進を図る観光庁による戦略的プロモーション事業。地域の提案を国が採択し、国と地域で連携して実施するものであり、サイクルツーリズムをテーマとした台湾からの誘客を図る。

① 台湾メディア・旅行会社招請事業

【目的】 「海」「溪谷」「北アルプス」の豊かな自然資源等を活用したサイクルコースをプロモーションすることにより、サイクリングを主な目的とした台湾人旅行者の増加を図る。

【実施概要】 9月20日（木）～24日（月） 4泊5日 旅行会社4社4人
 10月4日（木）～8日（月） 4泊5日 インフルエンサー5人
 10月11日（木）～15日（月） 4泊5日 インフルエンサー5人

【行程】 ・ 9月20日（木）～24日（月） 旅行会社

(1日目) <朝日町・上越市>

富山空港着＝なないろKAN－歴史公園 バタバタ茶体験－
 キューピットバレイ（宿泊）

(2日目) <上越市・糸魚川市・白馬村>

岩の原ワイナリー－うみがたり－サイクリング－白山神社－
 弁天岩－マリンドリーム能生（昼食）－
 フォッサマグナミュージアム－権現荘（宿泊）

(3日目) <小谷村・白馬村>

梅池自然園ー梅池ゴンドラ中間駅(昼食)ー梅池 WOW アクティビティ
体験ー仁科三湖サイクリングー流星花園 (宿泊)

(4日目) <大町市・白馬村>

大町ダムー安曇野アートガーデンー大町山岳博物館ー
信州松崎和紙工場 和紙作り体験ー豚のさんぼ (昼食) ー
大出の吊橋ー流星花園 (宿泊)
白馬-ジオパル==富山空港



・10月4日(木)～8日(月) メディア

(1日目) <朝日町・上越市>

富山空港着==なないろ KANー朝日町歴史公園 バタバタ茶体験ー
上越市立水族博物館 うみがたりーキューピットバレイ (宿泊)

(2日目) <上越市・糸魚川市・小谷村>

岩の原葡萄園ーフォッサマグナミュージアムー
漁師の店傳兵(昼食)ー 梅池 WOW アクティビティー
白馬アルプスホテル (宿泊) ー

(3日目) <白馬村・大町市>

岩岳 MTB 体験ー白馬ジャンプ競技場ー細野諏訪社ー仁科三湖ー
ゼーブリック (昼食) ー信州松崎和紙工業 和紙作り体験ー
流星花園 (宿泊)

(4日目) <白馬村・大町市>

グランフォンド糸魚川ー権現荘 (宿泊)
王子祭りー流星花園 (宿泊)

(5日目) <糸魚川市>

糸魚川駅ジオパル==富山空港



・10月11日(木)～15日(月) ブロガー

(1日目) <朝日町・上越市>

富山空港着==なないろ KANー歴史公園 バタバタ茶体験ー

上越市立水族博物館－キューピットバレイ（宿泊）

（2日目）＜上越市・糸魚川市＞

岩の原葡萄園－久比岐自転車道－白山神社、弁天岩－

マリンドリーム能生（昼食）－北アルプス日本海広域観光連携会議

－権現荘（宿泊）

（3日目）＜小谷村・白馬村＞

拇池自然公園－拇池 WOW アクティビティ体験－

岩岳 ハクバマウンテンハーバー（昼食）－仁科三湖－

立山プリンスホテル（宿泊）

（4日目）＜大町市・白馬村＞

安曇野アートライン（神明宮）－大町市山岳博物館－

信州松崎和紙工業 和紙作り体験－わちがい（昼食）－

白馬ジャンプ競技場－流星花園（宿泊）

（5日目）＜糸魚川市＞

出発＝富山空港



②台湾旅行博出展・セールスコール

【目的】 「海」、「溪谷」、「北アルプス」の豊かな自然資源等を活用したサイクルコースをプロモーションすることにより、サイクリングを主な目的とした台湾人旅行者の増加を図る。

【実施概要】 5月3日（木）～5月9日（火） 5泊6日

【旅行博出展】 2017TTE台北国際観光博覧会

5月4日（金）～7日（火）

出展数 500社

来場者数 295,189人

ブース来場者 5,000人



【セールスコール】 5月4日（金）～7日（月）

台湾国内サイクルショップ5社、旅行会社5社、サイクル協会2社

③プロモーション用パンフレット作成事業

サイクル&エリアガイド 4,000部

サイクルガイド 1,800部

(2) 冬季シャトルバス運行事業

- ・ 冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客の移動の足として、白馬―糸魚川間をシャトルバスで繋ぎ、エリア内の観光流動の創出を図る。

【事業概要】

■運行スケジュール（期間中の毎週水～金曜日 全10回運行）

平成31年1月16日（水）～2月15日（金）

■運行時間

エコーランド(17:00) == 白馬東急ホテル(17:10) == 八方インフォメーションセンター(17:15) == 白馬山麓ツアーズ(17:20) == 南小谷駅(17:40) == 糸魚川駅(18:30～21:30) == 南小谷駅(22:25) == 白馬山麓ツアーズ(22:35) == 八方インフォメーションセンター(22:40) == 白馬東急ホテル(22:45) == エコーランド(22:55) ※マイクロバス27人乗り(基本)

■利用料金

片道500円（往復1,000円）

■広報宣伝

チラシの作成・配布、ホームページ掲載、「エッセンシャルガイド」掲出

■運行実績

利用者 179人【日本人客119人・外国人客60人】

※平成29年度実績 利用者140人【日本人客75人・外国人客65人】

※平成28年度実績 利用者125人【日本人客87人・外国人客38人】

※平成27年度実績 利用者100人【日本人客44名・外国人客56人】

(3) 鉄道魅力発信事業

- ・ 在来線の魅力をアピールすることで、来訪意欲を創出する。

日本海をゆったり眺めてのんびり旅 鉄道フィギュアストラップキャンペーン

日本海ひすいライン、あいの風とやま鉄道（直江津駅～泊駅間）に乗車し、指定のスタンプを集めた方を対象にET122系、フィギュアストラップをプレゼント。

■期間 8月16日（木）～11月30日（金）

■要件 専用スタンプが押された台紙と泊駅～糸魚川駅～直江津駅間の効果的な乗車券の提示でストラップと交換

■数量 988個（先着順）

■スタンプ設置場所 泊駅改札口・糸魚川駅改札口・直江津駅改札口



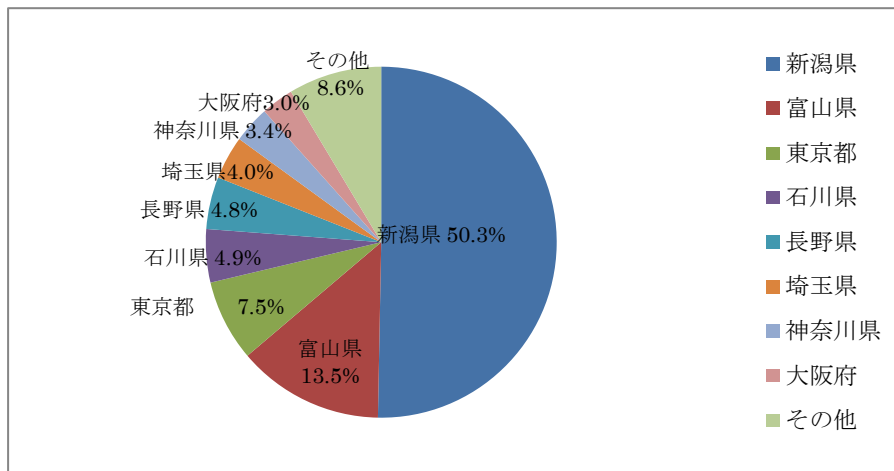
【アンケートの意見（抜粋）】

※日本海ひすいライン・あいの風とやま線に乗って良かったところ

- 海岸線沿いの景色・景観がすばらしい。

- 地下鉄のような駅（筒石）で停車したとき驚きがあった。
- 海がきれい。夕日がきれい。
- 車両のデザイン、車内のデザインが良かった。

◎住まい



（４）サイクルツーリズム推進事業

①カーゴトラック＆トレイン

- ・ 自転車での移動に危険が伴う糸魚川～小谷間、糸魚川～越中宮崎間を、自転車を貨物トラック便で移動させることで、サイクリストが周遊できる環境整備を図り、日本海エリア・北アルプスエリアの相互移動及び大糸線及び日本海ひすいライン、あいの風とやま線の利用促進を図る。

■運行時期

6月23日（土）～10月28日（日）までの土日祝日

■運行方法

- ・ 運輸業者が糸魚川～南小谷間、糸魚川～越中宮崎間において、朝1往復、夕1往復のカーゴ便を設定し、自転車を目的地まで運送。お客さんは自転車をカーゴ便に預けた後、大糸線、日本海ひすいライン、あいの風とやま線に乗車し目的地で自転車を受け取る。事前予約制

■利用料金

片道 500 円（別途乗車券が必要）

■広報宣伝

チラシの作成・配布、ホームページ掲載、フェイスブック

■運行実績

利用者 なし

②輪行バッグ購入

- ・サイクリストへの利便性の向上とサイクルエリアの魅力の向上を図るとともに、さらには大糸線・日本海ひすいライン・あいの風とやま線の利用促進を図る。

■輪行バッグ購入

60 袋

■輪行バッグ配布予定箇所

上越市直江津駅前観光案内所、糸魚川駅観光インフォメーションセンター、ひすいテラス、小谷村郷土館、白馬駅前観光案内所、大町市観光協会

■配布個数

各箇所 10 袋

■料金等

無料

※サイクルトレインも併せて実施することで、サイクリストの利便性の向上を図る。

平成30年度 収入支出決算

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 雑収入	151,153	160,048	8,895	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	2,009,847	2,009,847	0	
計	8,450,000	8,458,895	8,895	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1. 事業費	7,800,000	5,471,375	△ 2,328,625	
広告宣伝	100,000	0	△ 100,000	
広域旅行商品の販売促進	900,000	0	△ 900,000	
訪日プロモーション地方連携事業	3,900,000	3,316,018	△ 583,982	訪日プロモーション地方連携事業
冬季シャトルバス運行事業	400,000	265,141	△ 134,859	
鉄道魅力発信事業	1,300,000	1,078,288	△ 221,712	鉄道ストラップキャンペーン
カーゴトラック&トレイン事業	1,000,000	128,304	△ 871,696	チラシ・ポスター作成
輪行バッグ推進事業	0	483,624	483,624	輪行バッグ購入
ホームページ管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	415,000	372,555	△ 42,445	
会議費	200,000	170,691	△ 29,309	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,864	864	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	1,000	△ 14,000	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	235,000	0	△ 235,000	
予備費	235,000	0	△ 235,000	
計	8,450,000	5,843,930	△ 2,606,070	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

収入8,458,895円 - 支出5,843,930円 = 差引2,614,965円 は次年度に繰り越す

監査報告書

平成 30 年度収入支出決算について、関係書類及び諸帳簿を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

平成 31 年 4 月 26 日

監事

新潟県糸魚川地域振興局 局長

八木 威 

平成 31 年 4 月 26 日

監事

大町商工会議所 会頭

坂中正男 

令和元年度 事業計画（案）について

平成31年4月～令和2年3月

1 事業概要

広域観光連携のメリットを生かしたこれまでの取組を継続させるとともに、北陸新幹線開業効果を生かした事業を実施、加速させていく。

2 事業計画

(1) 会議の開催について

広域観光連携会議専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う機関として、事業計画を推進する。

幹事会

重要事項の審議のほか、連携会議の円滑な運営を補助することを目的に開催する。

(2) 令和元年度事業について

- ・広域観光 PR
- ・二次交通 PR
- ・HP管理

※詳細は次ページ以降に掲載

誘客宣伝

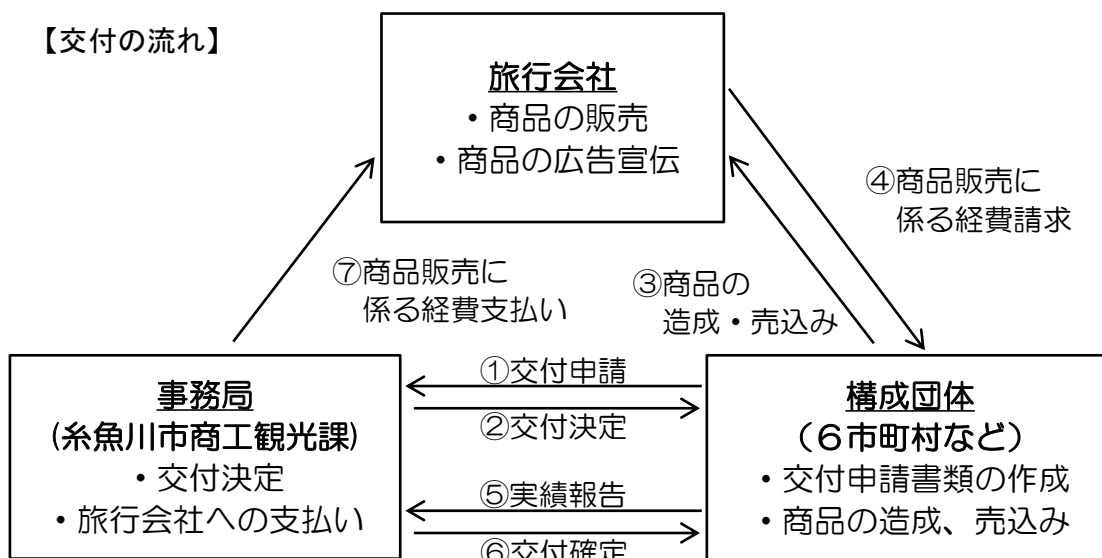
広域旅行商品の販売促進（継続）

1 趣旨

広域旅行商品の造成及び販売を通じて当エリアへの誘客拡大並びに認知度向上を図る。

2 事業計画（案）

- (1) 北陸新幹線糸魚川駅を利用した広域旅行商品の企画造成、または販売に係る費用を負担する。連携会議構成団体が自ら企画するツアー商品のほか、旅行会社が送客を促すための支援としても利用可
例：広告協賛金、ツアー代金への充当、バス代補助等
- (2) 2市町村以上を跨るコース設定を条件に広域エリアでの周遊を図る。



3 目標

エリアの認知度向上
エリアへの誘客拡大

4 スケジュール

2019年度（令和元年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商品開発・売込	→											

5 事業費（概算）

600,000 円 （100,000円×6市町村）

誘客宣伝

訪日プロモーション地方連携事業（拡充）

（旧ビジット・ジャパン地方連携事業）

1 趣旨

平成28年度より実施した当事業により、各市町村でサイクルスポーツへの関心が高まり、環境整備へ向け動き出した。ターゲットである台湾からの照会も入ってきており、プロモーションを継続することで認知度の向上と誘客拡大を図ってきた。

平成31年度は、サイクルスポーツを含むアウトドアアクティビティを活用し、さらなる広域観光の誘客を図る。

2 事業計画（案）

(1) 旅行会社招請（令和元年9・10月頃）

アウトドアアクティビティ専門の旅行社をエリア毎の見所の時期に招請し、今後のツアー商品造成に繋げる。5社5人招請予定

【行程案】 5泊6日

9・10月 富山きときと空港in⇒朝日町・ひすい探し体験⇒糸魚川市・塩の道・ヒスイ峡⇒小谷村・塩の道トレッキング⇒白馬村・塩の道・ジャンプ台⇒大町市・塩の道・黒部ダム⇒上越市・うみがたり⇒富山きときと空港out

(2) メディア招請（令和元年10月頃）

アウトドアアクティビティ関連のメディアをエリア内で実施されるイベント等に招請。体験談をSNS等を通じて発信してもらう。

【行程案】 5泊6日

10月 富山きときと空港in⇒朝日町・バタバタ茶体験⇒大町市・黒部ダム・高瀬溪谷トレッキング⇒白馬村・マウンテンバイク体験⇒小谷村・ラフティング体験⇒上越市・うみがたり⇒久比岐自転車道⇒糸魚川市・マリンドリーム能生⇒富山きときと空港out

(3) 旅行博出展及びセールスコール（令和元年11月）

11月に開催される台北国際旅行博（ITF）に出展し、エンドユーザーに直接訴えかける。また訪台中、旅行会社やアクティビティ関連ショップを訪問し、認知度向上と誘客支援に結び付ける。

◇台北国際旅行博 2019年11月中旬 開催

◇台湾主要旅行会社 台北10社

(4) 印刷物制作

- ・エリア内の観光情報及びアクティビティ情報を掲載 10,000部作成
- A4フルカラー、16ページ、中国語（繁）・英語の2ヵ国語 各5,000部

(5) 純広告

- ・インバウンドWebメディアでの記事広告発信

9・11月の2回出稿

1本あたり、繁体字1000～4000字

併せてFB等による記事拡散 8・10月頃台湾KOLにより取材を実施

3 目標

エリアの認知度向上

インバウンド受入環境整備

新たな観光ルートの構築

4 スケジュール

2019年度（令和元年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
旅行会社招請						→	→					
メディア招請							→					
旅行博出展・セールスコール								→				
印刷物	→											
純広告					→		→					

5 事業費（概算）

5,400,000 円

（国の負担予定額4,770,000円）

内 訳 （ 単 位 ： 千 円）	旅行会社招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	地方：航空券、国内移動費、通訳費、宿泊費等	1,490	1,490	2,980
	メディア招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：現地移動費、通訳費 地方：宿泊費、航空券	745	745	1,490
	旅行博出展・セールスコール	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：出展費、通訳費、現地移動費 地方：宿泊費、航空券	1,035	1,035	2,070
	印刷物	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：パンフ製作費 地方：パンフ製作費、翻訳費	500	1,130	1,630
	純広告	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：記事広告 地方：記事広告	1,000	1,000	2,000
	計	4,770	5,400	10,170

二次交通

冬季シャトルバス運行事業（継続）

1 趣旨

冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客に、夕食を目的とした交通手段の提供と受入態勢を整えることでエリア内の観光流動を創出する。

2 事業計画（案）

(1) 実施から5年目（H27年度～）となるシーフードシャトルバスの継続実施。継続することで認知度向上を図り、利用客へ日本海まで近いことを心理的に意識づける。

※平成27年度利用実績 100人(日本人客44人・外国人客56人)

※平成28年度利用実績 125人(日本人客87人・外国人客38人)

※平成29年度利用実績 140人(日本人客75人・外国人客65人)

※平成30年度利用実績 179人(日本人客119人・外国人客60人)

【R元年度の行程案】

エコーランド(17:00) == 白馬東急ホテル(17:10) == 八方インフォメーションセンター(17:15) == 白馬山麓ツアーズ(17:20) == 南小谷駅(17:40) == 糸魚川駅(18:30~21:30) == 南小谷駅(22:25) == 白馬山麓ツアーズ(22:35) == 八方インフォメーションセンター(22:40) == 白馬東急ホテル(22:45) == エコーランド(22:55) ※マイクロバス27人乗り(基本) 糸魚川での滞在は3時間

(2) 事業運営は糸魚川シーフードシャトルバス事業実行委員会（糸魚川青年会議所内）。これまでの振り返りを行うなかで、より実績が上がるよう取組を強化する。



【課題】

- ・ 運行時間
- ・ 宣伝方法
- ・ 利用率向上の取組

3 目標

新たな観光ルートの構築
交流人口の拡大

4 スケジュール

2019年度（令和元年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画・調整												
運行												

5 事業費（概算）

300,000 円

二次交通

鉄道魅力発信事業（拡充）

1 趣旨

在来線の魅力をアピールすることで来訪意欲を創出する。

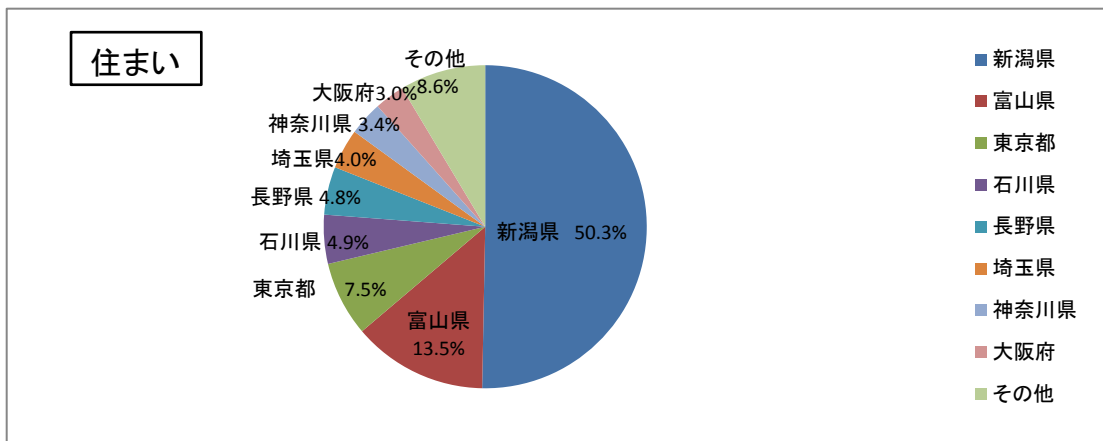
2 事業計画（案）

(1) 鉄道限定グッズの配布・キャンペーンの実施

- ・ H28・29年度は、糸魚川～信濃大町間の利用者増を図る取組を行った。
H30年度は、日本海ひすいライン、あいの風とやま線において、取組を行った。
R元年度は、北アルプス日本海エリア全線で実施を予定。
- ・ 大糸線、日本海ひすいライン、あいの風鉄道の主要な駅にスタンプ台を設置
- ・ ストラップに付属する駅名プレートは5種用意
(直江津駅・糸魚川駅・信濃大町駅・白馬駅・泊駅)

令和元年度実施（案）
「キハ52形・ET122形・521系ストラッププレゼントキャンペーン」
 ①期間: 令和元年秋頃実施予定 ②個数: 1,500個
 ③内容: スタンプ押印済台紙と有効な乗車券の提示でストラップと交換

● H30年度実施データ



(2) 情報発信

- ・ 自治体広報、ホームページ掲載
- ・ 各駅にポスター掲出
- ・ 大糸線活性化協議会と連携して情報発信

3 目標

認知度向上・来訪意欲の創出

4 スケジュール

2019年度（令和元年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調整、ストラップ製作		→										
宣伝			→									
キャンペーン実施							→					

5 事業費（概算）

1,300,000円

二次交通

サイクルツーリズム推進事業（拡充）

1 趣旨

自転車での移動に危険が伴う糸魚川～小谷間及び糸魚川～越中宮崎間を、輪行バッグの貸出しを行うことで、サイクリストが事前予約なしで列車で移動できる環境を整備し、日本海エリア・北アルプスエリアの相互移動及び大糸線、日本海ひすいライン、あいの風とやま鉄道線の利用促進を図る。

サイクルトレインも併せて運行することにより、サイクリストへの利便性の向上を図る。

2 事業計画（案）

(1) 輪行バッグ推進事業

① 実施時期

6月下旬頃～11月下旬まで（降雪期まで）

② 実施方法

- ・北アルプス日本海エリア内の主要駅（直江津駅、糸魚川駅、越中宮崎駅、南小谷駅、白馬駅、信濃大町駅）周辺の観光案内所等で輪行バッグの貸出・返却の受付を行う。
- ・レンタル料金については、社会実験的な位置づけとして実施するため、無料とする。
- ・バッグが一方の窓口に偏った場合は、過不足が生じる箇所同士で調整する。
- ・輪行のPRを行い、利用増に努める。

③ 検討事項

- ・レンタル場所の選定
- ・レンタル窓口との調整
- ・レンタル方法（申込書の記入・申請者の確認方法等）の調整
- ・作業場所の確保及び表示等

④ 情報発信

- ・サイクル雑誌等に本取組を含めた取組を紹介
- ・サイクル団体等を招致→SNS等で情報の拡散

⑤ その他

- ・社会実験的な位置づけ。実施体制の構築を含め、さらなる調整が必要

(2) サイクルトレイン事業

① 実施時期

6月下旬頃～10月下旬までで数回（調整中）

② 実施内容

- ・定期車両に予備車1両を増結し、貸切用サイクルトレイン専用車両とする。
- ・最高乗車人員20人、自転車積載車数20台
- ・収入に満たない経費は、北アルプ日本海広域観光連携会議が負担する。
- ・乗車区間は、糸魚川～南小谷間（双方着発可能）※途中下車不可
- ・その他、詳細については別途協議を行う。

3 目標

- ・サイクリストが危険箇所を安全に移動できる環境整備を行うことによる利用の増加
- ・JR大糸線、トキメキ鉄道・あいの風鉄道の利用促進

HP管理

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組を伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2019年度（令和元年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営、管理												→

5 事業費（概算）

200,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 50,000円
- ・情報更新料 1,200円/1h × 120時間 = 144,000円
- ・その他関連作業 6,000円/年

【収入の部】

(単位：円)

科 目	R元予算額	H30予算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 雑収入	159,035	151,153	7,882	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	2,614,965	2,009,847	605,118	前年度繰越金
計	9,063,000	8,450,000	613,000	

【支出の部】

科 目	R元予算額	H30予算額	比較増減	説 明
1. 事業費	8,500,000	7,800,000	700,000	
広告宣伝	100,000	100,000	0	
広域旅行商品の販売促進	600,000	900,000	△ 300,000	100千円×6団体
訪日プロモーション地方連携事業	5,400,000	3,900,000	1,500,000	旅行社招請、セールスコール、旅行博出展等
冬季シャトルバス運行事業	300,000	400,000	△ 100,000	シーフードシャトルバス
鉄道魅力発信事業	1,300,000	1,300,000	0	大糸線などのストラップ
サイクルツーリズム推進事業	600,000	1,000,000	△ 400,000	サイクルトレイン、輪行バッグ推進
ホームページ運営管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	395,000	415,000	△ 20,000	
会議費	180,000	200,000	△ 20,000	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	15,000	0	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	168,000	235,000	△ 67,000	
予備費	168,000	235,000	△ 67,000	
計	9,063,000	8,450,000	613,000	

収入-支出 0

* 事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

参 考 資 料

構 成 団 体 名 簿

役 員 名 簿

幹事会・専門委員会名簿

連 携 会 議 規 約

連 携 会 議 行 動 計 画

北アルプス日本海広域観光連携会議 構成団体名簿

区 分	団 体 名	備 考
市町村	新潟県糸魚川市	
	新潟県上越市	
	長野県大町市	
	長野県白馬村	
	長野県小谷村	
	富山県朝日町	
国県	新潟県糸魚川地域振興局	
	長野県北アルプス地域振興局	
観光団体	糸魚川市観光協会	
	公益社団法人上越観光コンベンション協会	
	大町市観光協会	
	一般社団法人白馬村観光局	
	一般社団法人小谷村観光連盟	
	朝日町観光協会	
商工団体	糸魚川商工会議所	
	能生商工会	
	青海町商工会	
	上越商工会議所	
	大町商工会議所	
	白馬商工会	
	小谷村商工会	
	朝日町商工会	
交通事業者	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社	
	えちごトキめき鉄道株式会社	
	糸魚川バス株式会社	
	頸城自動車株式会社	
	アルピコ交通株式会社	

北アルプス日本海広域観光連携会議 役員名簿

役 職	氏 名
会 長	糸魚川市長 米田 徹
副 会 長	上越市長 村山 秀幸
	大町市長 牛越 徹
	白馬村長 下川 正剛
	小谷村長 中村 義明
	朝日町長 笹原 靖直
監 事	新潟県糸魚川地域振興局長 八木 威
	大町商工会議所会頭 坂中 正男

令和元年度 幹事会・専門委員会名簿

令和元年5月10日現在

区分	団体名	所属	職名	氏名	メールアドレス	電話	FAX	備考
幹事会	糸魚川市	産業部	部長	見邊 太		025-552-1511	025-552-7372	
	上越市	産業観光部観光交流推進課	課長	吉田 正典		025-526-5111	025-526-6113	
	大町市	産業観光部観光課	課長	太田 三博	ota.mitsuhiro@city.omachi.nagano.jp	0261-22-0420	0261-23-4660	
	白馬村	観光課	課長	太田 雄介	kanko@vill.hakuba.lg.jp	0261-85-0722	0261-72-7001	
	小谷村	観光振興課	課長	関 芳明	seki@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2585	0261-82-2232	
	朝日町	商工観光課	課長	住吉 雅人		0765-83-1100	0765-83-1109	
	新潟県 糸魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	課長	野神 直人	nogami.naoto@pref.niigata.lg.jp	025-553-1843	025-552-9944	
	長野県 北アルプス地域振興局	商工観光課	課長	早川 政宏	kitachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	0261-23-6523	0261-23-2934	
	糸魚川市観光協会		事務局長	佐々木 繁雄	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
	上越観光コンベンション 協会		事務局長	南 博幸	itca@joetsu.ne.jp	025-543-2777	025-545-1113	
	大町市観光協会		専務理事	小松 令子	info@kanko-omachi.gr.jp	0261-22-0190	0261-22-5593	
	白馬村観光局		事務局長	福島 洋次郎	fukushima@po.vill.hakuba.nagano.jp	0261-72-7100	0261-72-6311	
	小谷村観光連盟		事務局長	山中 直美	kyokai@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2233	0261-82-2242	
	朝日町観光協会		事務局長	平木 利明	info@asahi-tabi.com	0765-83-2780	0765-83-2781	
	糸魚川商工会議所	総務課	総務課長	野本 宏一	k-nomoto@itoigawa-cci.or.jp	025-552-1225	025-552-8860	
	能生商工会		事務局長	池田 正吾	benten@noumachi-syokukoukai.or.jp	025-566-2244	025-566-4374	
	青海町商工会		事務局長	小竹 和雄	k-kotake@shinsyoren.or.jp	025-562-2352	025-562-5201	
	上越商工会議所		専務理事	宮越 浩司	miyakoshi@joetsu.ne.jp	025-525-1185	025-522-0171	
	大町商工会議所		事務局長	鷲澤 恒夫	occi@deluxe.ocn.ne.jp	0261-22-1890	0261-23-3735	
	白馬商工会		事務局長	不在	info@hakuba-sci.jp	0261-72-5101	0261-72-6112	
	小谷村商工会		統括経営支援員	中村 豊	otari@valley.ne.jp	0261-82-2888	0261-82-2889	
	朝日町商工会		事務局長	小林 光義	m-koba@shokoren-toyama.or.jp	0765-83-2280	0765-83-2282	
	西日本旅客鉄道株式会 社金沢支社	北陸広域鉄道部	大糸線担当部長	谷野 公春	kimiharu-yano@westjr.co.jp	025-552-0336	025-552-0336	
	えちごトキめき鉄道株 式会社	営業部	取締役営業部長	石黒 孝良	ishiguro.takayoshi@echigo-tokimeki.co.jp	025-546-5520	025-543-8020	
	糸魚川バス株式会社		業務課長	和田 直樹	itobus@amber.plala.or.jp	025-552-0180	025-550-1006	
	頸城自動車株式会社	観光部	観光部長	鈴木 陽一	FAX	025-543-3781	025-544-8338	
アルピコ交通株式会社	白馬営業所	所長	津山 健次	tsuyama.kenji@alpico.co.jp	0261-72-3155	0261-72-5829		
専門委員会	上越市	産業観光部観光交流推進課	主任	清水 信寿	kanko-shinko@city.ioetsu.lg.jp	025-526-5111	025-526-6113	
	大町市	産業観光部観光課	主事補	泉水 久乃	h.sensui@city.omachi.nagano.jp	0261-23-4081	0261-23-3378	
	白馬村	観光課	係長	山岸 大祐	kanko@vill.hakuba.lg.jp	0261-85-0722	0261-72-7001	
	小谷村	観光振興課	係長	矢口 浩幸	kanko@vill.otari.lg.jp	0261-82-2585	0261-82-2232	
	朝日町	商工観光課	誘客・プロモーション 担当	山崎 涉	yukyaku@int.town.asahi.toyama.jp	0765-83-1100	0765-83-1109	
	新潟県 糸魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	地域振興専門員	小野 仁司	ono.hitoshi2@pref.niigata.lg.jp	025-553-1843	025-552-9944	
	長野県 北アルプス地域振興局	商工観光課	課長補佐	峯村 高広	minemura-takahiro@pref.nagano.lg.jp	0261-23-6523	0261-23-2934	
	糸魚川市観光協会		事務局長	佐々木 繁雄	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
			事務員		itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
	上越観光コンベンション 協会		係長	福嶋 大	itca-fd@joetsu.ne.jp	025-543-2777	025-545-1113	
	大町市観光協会		専務理事	小松 令子	info@kanko-omachi.gr.jp	0261-22-0190	0261-22-5593	
	白馬村観光局		事務局長	福島 洋次郎	fukushima@po.vill.hakuba.nagano.jp	0261-72-7100	0261-72-6311	
			営業グループ	事務局長次長	佐藤 裕二	sato@po.vill.hakuba.nagano.jp	0261-72-7100	0261-72-6311
	白馬商工会		主任経営支援員	師岡 和弘	info@hakuba-sci.jp	0261-72-5101	0261-72-6112	
	小谷村観光連盟		事務局長	山中 直美	kyokai@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2233	0261-82-2242	
	小谷村商工会		統括経営支援員	中村 豊	otari@valley.ne.jp	0261-82-2888	0261-82-2889	
朝日町観光協会		事務局長	平木 利明	info@asahi-tabi.com	0765-83-2780	0765-83-2781		
事務局	糸魚川市	産業部 商工観光課	課長	大嶋 利幸	kanko@city.itoigawa.lg.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			課長補佐	杉野 尚	kanko@city.itoigawa.lg.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			係長	中村 真義	kanko@city.itoigawa.lg.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			主査	石崎 健一	kanko@city.itoigawa.lg.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			会計管理者	山口 和美		025-552-1511	025-552-7372	

北アルプス日本海広域観光連携会議規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本会議は、北アルプス日本海広域観光連携会議（以下「連携会議」という。）と称する。

(目的)

第2条 連携会議は、北陸新幹線糸魚川駅を中心とした周辺市町村及び関係団体との広域観光連携を推進するため、北アルプス日本海広域観光連携行動計画（以下「行動計画」という。）に登載する取組の推進、評価及び検証並びに計画の見直しを行うとともに、連携会議構成団体間の連絡調整等を円滑に行うことにより、広域観光連携を総合的かつ計画的に実施することを目的とする。

第2章 組織等

(組織)

第3条 連携会議は、別表に掲げる団体をもって組織する。

(役員)

第4条 連携会議に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 2名

2 役員は、総会において決定する。

(役員職務)

第5条 会長は、連携会議を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 3 監事は、連携会議の会計を監査し、その結果を総会において報告する。

第3章 総会

(総会)

第6条 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 行動計画及び規約の制定又は変更に関すること。
- (2) 事業計画に関すること。
- (3) 収入支出予算及び決算に関すること。
- (4) 役員を選任に関すること。
- (5) その他会長が必要と認める事項に関すること。

2 総会は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(専決処分)

第7条 会長は、総会を招集する時間的猶予がないときは、前条第1項各号に掲げる事項について専決することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会に報告し、その承認を得なければならない。

第4章 幹事会

(幹事会)

第8条 連携会議の目的を円滑に遂行するため、幹事会を設置する。

2 幹事会は、連携会議の構成団体からの推薦する者により組織する。

3 幹事会は、次に掲げる活動を行う。

- (1) 連携会議の円滑な運営の補助
- (2) 行動計画に基づく事業の重点化に関する協議
- (3) 専門委員会の連絡調整

第5章 専門委員会

(専門委員会)

第9条 連携会議は、専門的な事項を検討し、推進するため、専門委員会（以下「委員会」という。）を設置することができる。

2 委員会は、連携会議の要請により必要に応じて組織する。

3 委員会の委員は、検討する事項により幹事会で協議し、関係する団体からの推薦により決定する。

(委員長等)

第10条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき、又は委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(委員会の会議)

第11条 委員長は、委員会を招集し、その会議の座長となる。

2 座長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

第6章 事務局

(事務局)

第12条 連携会議、幹事会、委員会等の会務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長及び事務局次長を置き、会長が任命する。
- 3 事務局は、構成団体のうち県及び市町村の担当課と糸魚川市観光協会が担任し、事務所は、糸魚川市に置く。

第7章 会 計

(会計)

第13条 連携会議の経費は、負担金、補助金、寄付金、協賛金その他の収入をもって充てる。

- 2 連携会議の会計は、糸魚川市財務規則に準拠し、糸魚川市財務規則のうち課長専決以下は事務局長の、それ以外は会長の決裁により、事務局長が執行する。
- 3 通帳の管理及び現金の出納については、糸魚川市会計管理者が行うものとする。
- 4 予算の管理は、事務所で行い、監事の監査を受けるものとする。

(会計年度)

第14条 連携会議の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8章 解 散

(解散)

第15条 連携会議は、第2条に掲げる目的を達成したときに解散する。

第9章 補 足

(補足)

第16条 この規約に定めるもののほか、連携会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成25年8月5日から施行する。
- 2 平成25年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成26年3月31日までとする。

附 則

- 1 この規約は、平成27年5月13日から施行する。

附 則

- 1 この規約は、平成27年7月8日から施行する。

附 則

- 1 この規約は、平成30年4月1日から施行する。

北アルプス日本海広域観光連携会議 行動計画

北アルプス日本海広域観光連携会議は、北陸新幹線糸魚川駅を中心とした周辺市町村及び関係団体との広域観光連携を推進するため、次に掲げる事業に取り組む。

- 1 広域観光連携の推進
 - 周遊型広域観光商品の開発と販売促進活動
 - 祭りやイベントの広域連携
 - 効果測定等の調査
- 2 交通事業者との連携
 - 二次交通の充実と連携
 - イベント列車などの運行
- 3 連携した情報発信
 - ポスターや観光パンフなど広域観光情報の発信
 - 誘客PR、観光物産イベント等への共同参加
- 4 連携した新幹線開業イベントの開催
 - 開業イベントの情報交換
 - 連携したイベントの開催
- 5 新幹線糸魚川駅の利便性向上
 - 新幹線糸魚川駅の近隣市町村専用の駐車場確保
 - JR大糸線、並行在来線等の利便性の向上
 - アクセス道路の整備促進
- 6 その他新幹線開業の効果を活かすことができると考えられる連携事業